

# 和泉式部集における勅字歌群の研究

A Study of the Rokuji Songs in the Izumi Shikibu-shū

矢吹 郁

Fumi Yabuki

大妻女子大学大学院 人間文化研究科 言語文化学専攻 修士課程

キーワード：和泉式部集，勅字歌群，平安中期和歌

Key words : Izumi Shikibu-shū, Rokuji Songs, Mid-Heian Waka

## 1. 研究目的

平安時代中期の女性歌人として著名な和泉式部は、『小倉百人一首』にも撰ばれた「あらざらん…」歌をはじめ、心情を率直に詠む「正述心緒」の歌で広く知られているが、その一方、景物などの題材に託して心情を詠む「寄物陳思」型の歌も数多く残している。その巧みで斬新な歌風は『後拾遺集』において高く評価されているほか、相模ら後続の歌人たちにも多大な影響を与えており、和歌史上における和泉式部の功績はきわめて大きいものである。

本研究の対象である『和泉式部集』の勅字歌群は、その特異な表現のあり方から、久保木寿子氏の一連の論稿を除いて先行研究に乏しく、「勅字歌群」という名称自体も久保木氏によって考案されたものである。

歌々の最初の一字を古歌・漢詩・経文の句によって固定するという制約のもとで詠まれた勅字歌群は、配列にも工夫が凝らされており、個々の歌の表現の中にも他に類を見ないものが散見する。本研究では、勅字歌群全体を主に配列に注目して見直すとともに、一首一首の歌の表現の特色にも着目して、和泉式部の、ひいては平安中期の和歌表現における『和泉式部集』の勅字歌群の意義を明らかにすることを目的とする。

『和泉式部集』の三つの勅字歌群のうち、卒業論文で取り上げた「いはほのなかにすまばかは」歌群に続き、「我身命不愛」歌群・「観身岸離根草，論命江頭不繫舟」歌群を対象として考察を進め、『和泉式部集』の勅字歌群の全容を明らかにしていく。卒業論文では、「いはほ…」歌群が親から勘当された折に詠まれたものであると同時に、一つ

の作品として詠まれることを想定し、構成や配列にも意を配りながら制作されていることを明らかにした。

修士論文では、卒業論文の内容を見直しつつ、他の二つの歌群についても、一首一首の表現の特色を確認した上で、歌群全体の性格を把握し、勅字歌群とは何か、という問いに対して明確な結論を提示できるよう努めていく。

## 2. 研究実施内容

歌群全体の性格を捉えるための方法として、まずは一首一首の表現に微視的に着目し、用例の調査に基づく表現史的な視点から正確な読解を試みる。具体的には、景物が詠み込まれているか否か、一首の主題に共通性は見られるか否かなど、いくつかの具体的な基準を設けて歌々をグルーピングすることから始め、それらを徐々に歌群全体の性格についての巨視的な考察へと展開させていく。

## 3. まとめと今後の課題

歌群全体の性格を捉えるための方法として、「一首一首の表現に微視的に着目すること」を挙げたが、七月に開催された「院生発表会」で発表するにあたり、改めて「微視的に着目すること」を意識して研究を進めた。具体的には、卒業論文での反省点（和歌についての解釈の不明瞭さ、論文で扱う適切な語の選択、論の質）を生かし、「いはほのなかにすまばかは」歌群について、もう一度一首一首の見直しを行った。その結果、新たな知見（資料の収集、参考・引用文献の精査、論の質の向上）を加えた発表を「院生発表会」で行うことができた。また、それらに加えて、先生や先輩から助言を得ることで、これまで課題として残って

いた「巨視的な考察への展開」(中古だけではなく中世にまで渡る, 和歌の表現の幅, 継承についての視点) への目途が立った。そのため, 予定より早く修士論文に着手することが可能となり, 十月に, 二章にあたる部分を提出することができた。また, 研究経費より購入した書籍を用いることで, 論に厚みが増し, より説得力のある修士論文になることが期待される。

現在は, 「我身命不愛」歌群について, 「(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性」に記載したとおりに研究を進めている。「観身岸離根草, 論命江頭不繫舟」歌群については, 現在資料の整理・収集を行っている状況である。「(3)本研究で何をどのように, どこまで明らかにしようとするのか」

の項目で記載した「勅字歌群とは何か」という問いに対しての明確な結論の提示については, 至っていない。

今後の課題としては, 修士論文の論の中心となるであろう, 先ほど挙げた「勅字歌群とは何か」という問いに対しての答えを意識した研究を進めていくことである。そのため, 和泉式部の勅字歌群, 中古の和歌だけではなく, 様々な時代の和歌について学んでいくことを目標とする。

#### 付記

本研究は大妻女子大学人間生活文化研究所の研究助成 (DB2236) 「和泉式部集における勅字歌群の研究」を受けたものです。